

# ときめき人

Tokimeki bito

## 心に響く、優しい旋律



前列左から3番目が代表の大場俊郎さん。令和8年「第26回定期演奏会」は7月5日(日)午後2時から、水の里ホール・Abebisouで開催されます。ぜひご来場ください。メンバーも随時募集中です。【問い合わせ】大場 ☎090(7521)7902

## とめ・くりはらマンドリンクラブ

指先から弾き出される繊細で美しく、そしてどこか懐かしい音色で、聴く人の心を包み込む。「とめ・くりはらマンドリンクラブ」は平成13年に「とめマンドリンクラブ」と「築館女子高マンドリンクラブOG会」が統合して結成。昨年、25回目の記念定期演奏会を開催し、多くの観客を魅了した。

メンバーは、登米市・栗原市出身者のほか、大崎市など近隣地域からの参加もあり、現在13人で市内を拠点に活動。定期演奏会のほかに、2年に1回開催される東北マンドリンフェスティバルへの出場や、各地区の敬老会、老人施設での演奏会など地域に根ざした活動にも力を入れている。クラブ代表の大場俊郎さんは、「施設での演奏会は、涙を浮かべて聴き入る人や手拍子をしてくれる人もい

る。『すごく良かったよ。また来てね』と声をかけてもらえる瞬間が何よりの励みであり、メンバーの原動力になっています」と穏やかな表情で語る。

同クラブの魅力の一つが、大場さんが手がけるオリジナル曲。歴史的人物をイメージして作曲された作品は、高い評価を受け、その人物ゆかりの地から招待されて演奏する機会もある。演奏は県内外で披露し、地域の歴史や物語を表現する音は、多くの人を引き付け、聴く人の心に響いている。

「いつか、日本にマンドリンを広めた偉大な作曲家「古賀政男」ゆかりの地、青根温泉で『古賀のメロディー』を演奏したいです」。情感豊かな音色を奏でる日を思い描きながら、これからも地域に寄り添い、音楽の楽しさを届けていく。

## 編集後記

▼運動の習慣がほとんどない私。長年の出不精がたたき、お腹がデブってきたため、この春からウォーキングを始めました。熱中症対策の暑熱順化にも効果的なので、特集担当者として途中で投げ出す訳にはいかないし、日々やる気を奮い立たせています。(添田)

▼優しく懐かしい音色を感じながら、とめ・くりはらマンドリンクラブの皆さんを取材しました。練習室に入ると、メンバー同士で教え合いながら楽しそうに楽器を奏でていた皆さん。結成から25年。「いつか青根温泉で古賀のメロディーを」という夢、ぜひ実現してほしいです。(森田)

▼寄り添い半世紀を取材していると、夫婦のかたちは千差万別ですが、共通して感じることは幸せだということ。今回の高橋さん夫婦は、とにかくにぎやか。取材中も笑い声が絶えることはありませんでした。私も「いつか得意のおやじギャグで妻を笑わせるぞ」と心の中で誓いました(高橋)



登米市公式ホームページ  
<https://www.city.tomiyama.jp/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)  
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE  
(市政、イベント情報などを配信)  
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>